

日本一高いトウモロコシの販売戦略を企画・実践するラボ (連携先：株式会社いぶき、岡山青年会議所)

課題：いぶきで生産される高糖度トウモロコシの高級ブランド化と販売の実践する

活動① いぶきの農園で農業体験

トウモロコシの種まき・雑草抜きや収穫、茄子の間引き、玉ねぎ・ジャガイモ・カブ・ビーツの収穫を行った。



活動② いぶきのトウモロコシのブランド名を決定

おう 煌 いぶきのトウモロコシの品種は「おひさまコーン」
そこから太陽を連想して煌という漢字を使った。

かん 甘 糖度22度の甘いトウモロコシ
ということを強調した。

おうかん 瀬戸内の財宝 煌甘

財宝というのはトウモロコシの花言葉。「王冠」のようにキラキラ輝く、瀬戸内の宝になって欲しいという願いが込められています。👑

活動③ 備前岡山京橋朝市で高糖度トウモロコシの販売

7/2(日)と12/3(日)に開催された京橋朝市で、煌甘を100本限定(1本800円)で販売しました。



販売開始から **3時間**で**100本完売!**

たくさんの方に「煌甘」を知って
もらう貴重な機会になりました。

活動④ シゴトカレッジ2023で成果発表

7/8(土)に開催された
「シゴトカレッジ2023事業クロージング会」
で成果発表を行い、6大学10チームの中から
優秀賞(2位)をいただきました。



1年間の総括

私たちは「農作物の高級ブランド化」をテーマに掲げ、トウモロコシを高級ブランド化し、販売することを目標に1年間活動してきました。活動の中で、印象に残る名前やキャッチコピーを作る事、ターゲット層に合った値段設定が大切な事などを学びました。また農作業を実際に体験してみて、農作物を育てる事の大変さを学びました。メンバーと目標に向けて反省点を確認しながら試行錯誤し、成功した時の達成感は計り知れないものでした。1年間の活動は学びや感動の多い充実した時間であり、とても貴重な体験となりました。

担当教員：藤原美佳 梶岡洋祐／所属学生7名

石田海翔、内田彩花、大森祐範、岡田尊、尾崎未唯、藤川聖司、山崎拓真